

## 只見町立只見中学校への感想

〔生徒の皆様へ〕

- SDGs 委員会という委員会があることに驚いた。その活動内容も SDGs についてよく考えられた実践的な活動が行われていて、素晴らしい活動をしていることが分かりました。また、パワーポイントを用いての質が高く、グラフなども見やすく載っていたり様々なデータを用いての発表で、とても分かりやすかったです。大学に入ったら、このような発表を死ぬほどやらされるので、中学生の段階で、これだけのものを完成させられる皆さんは、大学に入っても苦労しないと思います。
- 只見町と SDGs について、只見町のプラスチックごみや環境問題についてよく調べられた発表だったと思います。一人当たりのペットボトルの消費量の結果を見て、自分は多くのペットボトルを消費しているので、できるだけマイボトルを持ち歩いたり、リサイクルを意識付けたりして、環境を意識して生活したいと思いました。
- 自分たちの身近にある SDGs に目を向け活動を行っていて素晴らしいと思います。身近な問題を解決するために考え行動することはとても大切な事であると思います。また、生徒だけでなくその家族や地域の人々にも活動の輪を広げている点が印象的でした。
- 海について、小学校からの知識を使いながら学んでいくことはとてもいいと感じました。ペットボトルに注目することで、地球に及ぼす影響の大きさを知ることができ、とても良い着眼点だと思いました。ペットボトルの利用を減らすための対策を考えていていいと思いました。
- 海に面していない地域に住んでいるのに、海に対して意識を向けた活動を行っていることに感心しました。発表を通して SDGs 達成に向けての活動の努力が伝わってきました。ペットボトルの使用量を減らすことは私にも実践できることだと思ったので取り組んでいきたいです。
- 地域と離れた存在である「海」に興味関心を持ち、自分たちから視野を広げようとする姿勢が素晴らしいと感じました。スライドの中に SDGs の目標を挿入してあるという工夫が、理解の助けとなっていたと感じ、非常に良いスライドであると感じました。一人当たりのペットボトルの年間利用量に注目し、身近なものが環境変化に影響を及ぼすということを体感させることで自分たちができることを提案する一連の過程が、説得力・根拠があり非常に優れていると感じました。自分たちの活動に責任を持ち、ユニクロのプロジェクトをはじめ様々な活動に積極的に参加し、国際問題を視野に入れて活動を進めていくという姿勢に非常に感動しました。
- 中学生らしい問題への探究的な解決方法の模索や、非常に発信的且つ実践的な活動が印象的だった。自分たちや自分たちの住む地域の海洋プラスチックに対する責任についてよく考えて、今後もより良い環境づくりのために活動を続けて言って欲しい。

- 只見中学校の皆さん、発表ありがとうございました。私の出身が皆さんの町と同じく、海につながる川の上流にあたる地域にあり、「川の上流の町として、環境を整える責任がある」という言葉がとても響きました。私自身ゴミの分別やリサイクルなどにあまり目を向けられていないという意識があり、改めて、将来の環境のために小さなことからでもしっかりとできるようにしていかなければならないなと感じました。
- 海浜に行きごみ拾いを行うなど環境を守っていくための活動を行っている。只見市は水の都であり、その自然を守っていくために様々な活動を行っている様子はとても素晴らしいものだと思った。異常気象やプラスチックごみの増加など大きな問題となっている問題に着目していることで社会全体への意識変化を訴えかけるきっかけになるのではないかと思った。ペットボトルを買う日を制限することで販売者にも消費者にも無理のない範囲で制限することができ、全体としてはペットボトルの使用量を減らすことにつながるという社会全体に目をむけていることはとても素晴らしいと感じた。着なくなった服の回収や貧困地域へ届けるなどは自身が力になっていると感じやすい活動を行うことで周りの人々も巻き込んでいることはとても良いことだと思う。
- 「PET free Monday」は興味深い取り組みだと思いました。プラスチックごみの量を減らすことで、少なからず地球温暖化を防ぐことができると思います。
- 小学校の頃から環境に対して意識しながら生活してきたことに感心しました。またプラスチックの使用量を減らすという課題に対して、自分たちだけでなく家族や全校生徒、地域内外の方に多く広めている点が特に良いと思いました。より広く拡大した活動になることを応援しています。
- 発表を通して、ゴミの問題について真剣に取り組んでいることが伝わってきた。具体的には、自分たちで新聞バッグを作ることで多くの人々にゴミの削減に対する意識を高く持ってもらうという工夫が感じられた。また、積雪量の減少やペットボトルの消費量についての客観的なデータを基にして自分たちの考えをまとめ、理想を実現するための計画を考えている点から効果的な探求的な学びを実施していることが分かり、素晴らしいと思った。
- 1人当たりが一年で使用している本数の目安を見たとき、こんなに使っているのかと驚きました。ひとり暮らしを始めてから、自由に買い食いできるようになって明らかに実家暮らしの時よりもペットボトル飲料を買うことが増えてきたので、環境・節約のためにも安易に買うのは、やめようと思いました。
- 海がないからといって関係がないのではなく、海につながる上流にあるという関係性だと意識できていることが素晴らしいと思いました。PET free Monday という独自の活動を地域に広めていることを知り、社会を巻き込んで活動する影響力の大きさを知りました。SDGs17の目標を意識してこれからも頑張ってください。
- スライドを上手に使いながらとてもわかりやすい発表になっていてすごいと思いました。発表の中で出てきた新聞バック、服の力プロジェクトのアイデアはすごいなと思

いました。新聞バックでは作るだけでなく、地域のお店でも実際に使われているのを聞いて更にびっくりしました。また、服の力プロジェクトでは自分たちにできることから実践することができていてすごいと思いました。ぜひ、これからも自分たちの地域を盛り上げていってくださいね。

- データを適切に活用し、問題点を分析、解決に向かおうとする姿勢が素晴らしいと思った。月曜日にペットボトルを買わないとすることの理由やその実施も確実にこなうことができていた。合言葉も良かった。学校全体や学校外で取り組む姿勢も良いと思った。自分たちでできる限りのことをおこなっていて良かった。
- 年間で 191 本ものペットボトルを消費していることに驚きました。自分の身近な問題だからこそ入って行きやすい問題であると感じました。合言葉の中に少し笑いを入れることで、少しの違いかもしれないがそれだけでもほかの人が入りやすい工夫、覚えてもらえるような工夫がとっても良かったと思います。
- 福島県には何度か行ったことがあるが、只見町という地名は初めて聞いた。水というのは、普段当たり前のように使っているが、重要かつ貴重な資源の 1 つである。降雪量の変化を全て地球温暖化が原因とせず、他の可能性を考えられている様子からさすが中学生だと感じました。プラスチックの消費を減らすために、ペットボトルの利用を減らそうという課題から、マグネットを作成するという問題解決の過程を経て、問題解決能力が大きく身についたと思います。私も、普段はなるべく水筒を使うように心がけています。一緒に出来る事をかんばっていきましょう。
- 合い言葉があると忘れずにいれるし、ペットボトルを買おうと思ったときに踏みとどまるきっかけになると感じました。ただ環境に優しいだけでなく、実用的であることで実際に広まっていくことに繋がっているのだと思います。
- 地球温暖化が只見町における積雪量減少の一要因になっているのではないかという仮説のもと、地球温暖化防止策としてペットボトルの使用量を減らす活動をしていましたね。いきなりゼロにしようとするのではなく、週に 1 回ペットボトルを使わない日を設けたところが面白いと感じました。それくらいなら私もできそうという気持ちになります。環境保全に関する取り組みはいたるところで行われていますが、ハードルが高いのが課題だと思っています。これからも継続可能な、持続可能な環境保全活動を提案して行ってほしいです。